

八幡宮 岡山県神社庁 神社検索システム

由緒

当社は、寛文年間の創建ある。口碑によれば、往古は宮の谷に鎮座していたが、中古に至って現在の地に勧請したと伝わっている。

大正初年に現在の境内地を拡張整備し、新しい社殿を建立して村内に奉祀されていた諸社を合祀移転した。

当国藩主・池田侯の崇敬社として社領6斗を寄進された事が備陽国誌に記載されている。また、境内に現存している石灯籠に「寛文8年戊申8月15日又元禄16年癸未8月15日」などの文字があり、往古から当村の氏神として崇敬されていたことが伺える。

明治41年2月1日に東宮山の村社富士神社（祭神・仲哀天皇、応神天皇、神功皇后、木花開耶姫神）を合祀した。

秋の御大祭には、浦安の舞が奉納され多くの参拝者で賑わう。

前の写真へ次

基本情報

神社コード 07142

神社名 八幡宮（ハチマンガウ）

通称名 寒河八幡宮

旧社格 村社

鎮座地 〒701-3202 備前市日生町寒河1022

電話番号

FAX番号

駐車場 無

御祭神 仲哀天皇, 応神天皇, 神功皇后, 木花開耶姫命

御神徳

主な祭典 7月第3土・日曜日: 夏季大祭
10月第3土・日曜日: 秋季例大祭

宮司宅電話 0869-74-0021

URL

e-mail

特記事項

珍品の「南極の石」が舞納されている。
この石は第25次南極観測支援のための砕氷艦「しらせ」の通信士として参加した寒河出身の海上自衛官熊本義明氏が昭和59年1月1日、昭和基地西方のオングル島で採取したもの。

氏子地域

備前市（日生町寒河深谷西北部、日生町寒河西、西中、川内、日生町寒河西浜山東部、日生町寒河大西西部、日生町寒河中、北、宮の下の一部、日生町寒河東、名切、宮の下の一部、日生町寒河東奥福浦峠）

交通アクセス

J R 赤穂線寒河駅から北へ 3 0 0 m 宇野バス寒河中バス停から北へ 1 5 0 m

[検索画面に戻る](#)



© 2016 Okayamaken Jinjacho